

科目名	比較文学	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	稲垣 広和	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

日本の近代化は西欧の文明の吸収、理解、アレンジの歴史であるといえる。「いかに西欧から学ぶか」ということと近代日本の知識人・芸術家たちは格闘してきた。本講義では具体的に日本の文学作品を読みながら、その格闘の道筋を学習することによって、近代日本の思想の根底を理解することができることを目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

履修に関しては特に条件はないが、日本の小説・映画・マンガ・アニメーションに興味を持っている学生に受講してほしい。講義内で受講生に積極的に意見を求めるので高い問題意識を持って講義に臨んでもらいたい。また講義中に感想文を求めることもある。資料配布に関しては、当日配布のみとし資料の予備は保管しない。講義中の私語は禁止とし、他の受講生に迷惑をかけると思われる場合は退室を求める場合もある。30分以上遅刻した場合は欠席と見なし、遅刻、早退、中途退席等2回で欠席1回とする。講義中の課題や宿題については提出期限以外は提出不可とする。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認（キーワード）講義の概観
- 2回 第1章 比較文学概論（キーワード）比較文学と比較文化
- 3回 第2章 森鷗外「舞姫」(その1)（キーワード）内容理解、通読
- 4回 第2章 森鷗外「舞姫」(その2)（キーワード）内容理解、恋愛観の性差
- 5回 第2章 森鷗外「舞姫」(その3)（キーワード）立身出世（学歴社会と官僚制度）
- 6回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」(その1)（キーワード）内容理解、通読
- 7回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」(その2)（キーワード）内容理解、仏教とキリスト教
- 8回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」(その3)（キーワード）罪と罰、倫理観の違い
- 9回 第4章 深沢七郎「檜山節考」(その1)（キーワード）内容理解、通読
- 10回 第4章 深沢七郎「檜山節考」(その2)（キーワード）説話的世界、棄老伝説
- 11回 第4章 深沢七郎「檜山節考」(その3)（キーワード）映像表現の理解と民謡
- 12回 第5章 吉本ばなな「キッチン」(その1)（キーワード）内容理解、通読
- 13回 第5章 吉本ばなな「キッチン」(その2)（キーワード）家族制度、恋愛、小説の共時性
- 14回 第6章 三島由紀夫「潮騒」(その1)（キーワード）内容理解、通読
- 15回 第6章 三島由紀夫「潮騒」(その2)（キーワード）神話的世界、純愛
- (16回) 定期試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験期間中に筆記試験をおこなう。この定期試験では講義中に解説した比較文学的な基本知識を問うもの（50%）及び講義中に解説した比較文学的諸課題（50%）について出題をする。比較文学的諸課題とは「明治期における恋愛観について」や「現代文学における家族意識」等々である。この定期試験を全体評価の80%とし、残りの20%は講義中に提出する感想文又は提出課題（宿題）を点数化し全体評価に加える。なお、出席点はなし。また講義の進捗状況によってはレポート試験に変更する可能性もある。

＝テキスト（必携）＝

特になし